

帯広市地域公共交通活性化協議会

平成20年2月25日設置
平成21年3月26日連携計画策定



概要

帯広市は、十勝平野の中央に位置する中核都市であるが、マイカーへの依存度が極めて高い。これは、実際の市民の移動ニーズとバスサービスの内容が乖離していることが原因の一つと考えられる。そこで、適切なバスネットワークの形成、利用促進策の推進等により、安全で安心な移動を可能とする地域の足を確保し、ニーズに適したバスサービスの提供、自動車利用の抑制と公共交通に肯定的な市民意識の形成を図り、公共交通の活性化とともに地域全体の活性化を実現する。

○適切なバスネットワークの形成(21~23年度)

- ・市内の西地区において、現行路線ではアクセス困難な南北移動を可能とする「帯広運転試験場～イトーヨーカドー間」及び「西地区周辺循環」の新規2路線の導入実証実験を行う。
- ・「帯広の森」、「緑ヶ丘公園」の公的施設へのアクセス向上のため、路線改編による実証実験を行う。

○利用促進策の推進(21年度～)

- ・効果的かつ効率的なモビリティ・マネジメント(MM)を展開し、マイカー依存から公共交通機関への自発的転換を促す。
- ・新規2路線のわかりやすいバスマップ・時刻表を、作成・配布する。
- ・市民一人一人のライフステージに合った、情報提供を行うことで、バス利用の促進を図る。
- ・高齢者に対する公共交通をテーマとした教育プログラムの実施等による利用促進策を展開する。



国土地理院発行20万分の1地図図より